

第1号様式(第3条)

令和8年(2026年)1月26日

資 産 等 報 告 書

鎌倉市長 松尾 崇

1 土地

所 在	面 積	固定資産税の課税標準額	摘 要
該当なし	m ²	円	

- (注)1 信託している土地を含む。ただし、自己が帰属権利者であるものに限る。
2 共有の場合は、摘要欄にその持分を記入する。
3 相続により取得したときは、摘要欄にその旨を記入する。

2 建物の所有を目的とする地上権又は土地の賃借権

権利の目的となっている土地の所在	面 積	摘 要
該当なし	m ²	

- (注)1 共有の場合は、摘要欄にその持分を記入する。
2 相続により取得したときは、摘要欄にその旨を記入する。

3 建物

所 在	床 面 積	固定資産税の課税標準額	摘 要
該当なし	m ²	円	

- (注) 1 共有の場合は、摘要欄にその持分を記入する。
 2 相続により取得したときは、摘要欄にその旨を記入する。

4 預金・貯金

(1) 預金

預 金 の 総 額	該当なし
-----------	------

(注) 当座預金及び普通預金を除く。

(2) 貯金

貯 金 の 総 額	該当なし
-----------	------

(注) 普通貯金を除く。

5 有価証券

種 類	額 面 金 額 の 総 額
その他	30,000円

(注) 種類欄には、国債証券、地方債証券、社債券、金銭信託及びその他の別を記入し、その種類ごとに額面金額の総額（金銭信託については、元本の総額）を記入する。

種 類	銘 柄	株 数
株 券	該当なし	株

6 自動車・船舶・航空機・美術工芸品（取得価額が100万円を超えるものに限る。）

(1) 自動車

種 類	数 量
小型自動車	1 台

(注) 種類欄には、普通自動車、小型自動車、軽自動車及びその他の別を記入する。

(2) 船舶

種 類	数 量
該当なし	

(注) 種類欄には、汽船、帆船及びその他の別を記入する。

(3) 航空機

種 類	数 量
該当なし	

(注) 種類欄には、飛行機、回転翼航空機、滑空機及びその他の別を記入する。

(4) 美術工芸品

種 類	数 量
該当なし	

(注) 種類欄には、絵画、彫刻、書、陶器、磁器、漆器、ガラス器、刀剣及びその他の別を記入する。

7 ゴルフ場の利用に関する権利(譲渡することができるものに限る。)

ゴルフ場の名称	該当なし

8 貸付金(生計を一にする親族に対するものを除く。)

貸付金の総額	該当なし
--------	------

9 借入金(生計を一にする親族からのものを除く。)

借入金の総額	該当なし
--------	------